同一法人同一医療圏内での病床移動について

医療圏	東葛北部
-----	------

No.	病院名	地域
1	千葉・柏リハビリテーション病院	柏市
2	柏たなか病院	柏市

病院・有床診療所に係る方針変更報告書(具体的対応方針)

1 基本情報等(変更事項は該当項目に☑)

法 人 名	医療法人社団葵会					
医療機関名	千葉・柏リハビリテーション病院					
所 在 地	千葉県柏市大井 2651					
変 更 事 項	☑ 今後担う役割 ☑ 病床機能					

2 2025年において担う役割(昨年の報告から変更がある場合のみ該当項目に〇)

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前		0		0	0	0	0			0	
変更後		0		0	0	0	0				
その他の内訳 及び補足等											

3 病床機能及び入院料(昨年の報告から機能別病床数の内訳に変更がある場合のみ記載)

		変更前	変更後	届出予定の入院料
4	.機能 合計	316 床	210 床	
	高度急性期	床	床	
	急性期	床	床	
	回復期	60 床	60 床	
	慢性期	256 床	150 床	
	人間ドック等	床	床	
	休棟等	床	床	
	廃止予定	床	床	
	介護施設等への移行予定	床	床	

4 病床機能を変更する理由等 (機能別病床数を変更する場合のみ)

当院より慢性期病棟 256 床の内、106 床を同法人の柏たなか病院へ移動する為、 減床変更致します。

病院・有床診療所に係る整備計画書(具体的対応方針)

4	ᆂᆂᄹ	ᄩᆂᇛ
1	基本情	ŦY仅

法	人	名	医療法人社団 葵会
医纲	퇐機	[名	柏たなか病院
所	在	地	千葉県柏市小青田 1-3-2

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

2 整備内容等(該当項目に☑)

整	備	内	容	□ 新築(建替含む)	□ 増築	口 改築	■ 転換(内部改修等)
財	政	支	援	□ 特別交付税措置	□ 特別償	却制度	□ 県補助金

※ 財政支援については、提出時点で申請予定の内容を記載してください。

3 今後担う役割(該当項目に〇)

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
整備前		\circ		0		0	0		\circ	0	\circ
整備後	0	0	0	0		0	0		0		0
その他の内訳	「予[「予防医学」と「リハビリ」等の充実を図り、高齢者が健康で安心									
及び補足等	して	生活で	きるお	手伝し	いをさせ	せて頂	きます	o			

4 整備後の診療科

	整備前	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器科、糖尿病内科、
		腎臓透析内科、外科、消火器外科、肛門外科、整形外科、
		脳神経外科、形成外科、大腸外科、小児科、皮膚科、泌尿器科
│ 診 │ 療		婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科
診療科名	整備後	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器科、糖尿病内科、
"		腎臓透析内科、外科、消火器外科、肛門外科、整形外科、
		脳神経外科、形成外科、大腸外科、小児科、皮膚科、泌尿器科
		婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科

5 病床機能及び入院料

		整備前	整備後	
		1E 166 13.	¥ S	届出予定の入院料
4	機能 合計	406 床	512 床	
	高度急性期	床	床	
	急性期	154 床	134 床	急性期一般入院料 4
	回復期	60 床	60 床	回復期リハビリテーション病棟入院料3
	慢性期	192 床	318 床	療養病棟入院基本料 1 · 特殊疾患病棟入院

			料 1・障害者施設等入院基本料 10 対 1・ 緩和ケア病棟入院料 2
人間ドック等	床	床	
休棟等	床	床	

6 病床機能を変更する理由等(現在と整備後の機能別病床数を変更する場合のみ)

同法人が運営する柏リハビリテーション病院は最寄駅から遠く、アクセスが問題となっており、患者様及びご家族にご負担をかける事が多々発生する状況です。 当院は駅前ということでアクセスもよく、急性期機能も充実しており、より患者様 及び御家族にとって最適な医療を提供できるとの理由から当計画に至りました。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

急性期から慢性期まで幅広くの機能を充実させる事により。これまで以上に千葉県 東葛北部圏域の地域医療の中心病院として、地域診療所・病院等医療機関との連携 を深めていく考えに御座います。

8 整備スケジュール

供用開始予定	令和2年8月予定
その他補足	

理 由 書

医療法人社団 葵会

平成19年6月より、つくばエクスプレス「柏たなか駅」一帯の「柏北部東地区一体型特定土地区画整理事業」において、柏市より当法人グループでの病院・福祉施設、学校法人運営実績から、整備事業への参画につき強い要請を受け、医療・福祉・教育施設等の事業参画を行ってまいりました。

同事業計画のもと、平成24年9月に千葉県所有の千葉県立柏北高等学校跡地、及びUR 都市機構所有の隣接地入札に参加し取得後、千葉県との契約条項に従い、「柏市旧千葉県立 柏北高等学校跡地利用に関する指導指針」(平成24年8月9日柏市制定)に基づき協定書 を締結し、病院、介護老人保健施設、看護専門学校等の建設、運営を行ってまいりました。

土地取得後、計画の第一段階として、医療施設を開設すべく計画を進め、柏たなか病院の 現在地への移転が行われました。同病院は、柏市北部の災害時の拠点病院として役割を担い つつ、二次応需病院としての機能に加え、高齢者、がん患者への化学療法・緩和ケア、認知 症治療等での地域の中核となる病院として地域医療の質的向上及び保健福祉の増進に日々 努めております。

昨今の新型コロナウィルスに対しても、柏市感染症審査協議会の委員として、千葉県及び柏市との緊密な連携・協力体制を構築し、他の医療機関にはない呼吸器センターを設け、保健所からの紹介患者を全面的に受入れるとともに、救急外来に特別な診察室を設け、診察診療に日々全力を注いでおります。

その後、第二段階の福祉施設と致しまして、介護老人保健施設 葵の園・柏たなかを隣接地にオープンしました。続きまして、第三段階と致しまして、葵会グループの学校法人により、看護専門学校をオープンいたしました。

今般、同敷地の医療施設の更なる充実のため、同法人が運営する柏リハビリテーション病院の一部病床を、柏たなか病院に移転することを計画いたしました。

柏リハビリテーション病院は、手賀沼の対岸(柏市大井)に位置し、最寄駅からも遠く交通のアクセスが問題となっており、患者及びご家族にご負担をかけていた状況がございます。柏たなか病院に移転することで、利用者様、ご家族の皆様にとっても便利な環境の中で、最先端の治療を受けていただくことが可能となって参ります。

さらに、患者にとって療養環境が著しく向上するとともに、急性期病床も備える柏たなか病院での治療により、これまで以上に様々な医療的なケアを即時に受けられることとなります。

一方で、将来の医療資源の確保の面からも、隣接地での関連法人の運営する大学の看護学部からの人材確保、セラピスト専門校からの人材確保が容易になり、継続して医療サービスの更なる向上が図られるものと確信しております。

病床の移動に際しては、入院患者、ご家族はじめ現職員の同意のもと、何らご負担を強いることのないよう万全の体制で臨みます。現職員につきましては、柏たなか病院へ移籍して頂く案を中心に、希望者全員の継続雇用を確約致します。

同一医療圏での同一法人内での病床移動を実現することにより、医療、福祉、教育それぞれの大規模な機能が一ヶ所に集約された恵まれた環境の中で、より高いレベルでの医療、福祉、教育を実現し、今まで以上に、千葉県東葛北部圏域の地域医療の中心として、質の高い医療サービスの提供に努めてまいる所存でございます。

入院患者様、外来患者様の療養・診療環境向上、地域性も考慮した上での要望でございます。

何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。